

* 城北城東支部 *

* 合同例会のお知らせ *

もう春も間近のことでしょう。支部の皆さまお元気でしょうか。

合同例会を左記のように開きますから、皆様多数御参加下さるようお願ひします。

一、日時 四月十四日(日)午後一時~四時

一、場所 渡辺圭子さん宅

江東区深川三好町二-一十六

一、会費 三十円(おかし代)

一、集合 國電両国駅ホーム十二時二十分

(時間厳守)

城北支部長 増山 潤

城東支部長 宮島満雄

支部長就任を前に

増山 潤

四月より城東支部長を引き受ける事になりましたので、よろしくお願ひします。

私を知らない方にこの紙面を借りて自己紹介せしますと、

四人兄弟の次男坊で四月に二十四才になります。生後間もなく発病し、言語障害、四肢マヒ等の障害はありますが、実生活で人手を借りません。

百六十二センチ、五十九キロの体に眼鏡をかけて、左手で会社の帳簿をつけている姿を想像下さい。それが私です。

感動ですか! スボーツですか! 出来ません

ので見る方です。その他、切手のコレクション。音楽を聴く事です。

あまり気がすまないのでやめます。ただ、城東支部を皆さん的心のよりどころとなるよう運営して行きたいと思います。

皆さんの御協力を願い致します。

城東支部の地区委員に次の三名を決定しました。

古河 明子さん 葉山 祥男君

沢井 義之君

古河支部より

白石 明子さん 葉山 祥男君

古河支部では先頃、古河市議会に対し青い芝古河支部活動資金補助を陳情してました処、左の如く通達がありましたので御報告致します。

貴殿の提出した左記陳情は昭和三八年三月十二日のオ一回定例市議会で左の意見を付し採択と決定しましたから御通知致します。

陳情の審査の結果について

貴殿の提出した左記陳情は昭和三八年三月十二日のオ一回定例市議会で左の意見を付し採択と決定しましたから御通知致します。

一、件名 領情才二九号 青い芝の会活動資金補助について
二、委員会の意見 領情の趣旨を諒とす
るものであり、新規な補助であれば本件の特殊事情に鑑み執行部においても特に善処せられないのであります。

編集後記

(12)



総会終る告白

四月二十一日(日)園立身体障害者セ

ンター講堂で、青い芝が社会福祉団体に認められて初めての総会が開かれた。

司会 高垣折二

議長 富沢雍典 (司会者より指名選出)

一、経過報告 報告者、山北厚

年間経過報告をパンフレットにまとめてきた後、質疑が出され、会活動が全般に不活発のようだったが、詳しく説明を。との間に、役員が暫定で外部まで手が回らなかった。又園会請願を見送った理由は、地方選挙とぶつかつたためである。との解答。

二、実行委員経過報告 報告者、篠崎健次

昨年厚生省に五回の陳情。重度者対策として県立保健、指導所等の新設。自民党へも五回の陳情を行い、署名運動の結果、七千二百名となる。

整肢療護園長として日本の肢體不自由児療育事業の創始者で

会日本国委員会会長として常に

私達に光を投げて下さいました

去されました。

こゝに渾んで先生の御業績を

たゞえ哀悼の意を捧げる次第であります。

先生の云われた肢體不自由者

に対する「隠すなれ」の言葉

は今も本会にとって運動の重

要な主題となっている。

尚、四月十八日青山斎場に於ける告別式には本会から高木、石橋兩名が参列し、御焼香を捧げた。

(1)

(総会報告から)

(2)

本部役員	会長
副会長	高山水久子
事務局長	厚生相談部
会計監査部	社会活動部
各部長	厚生相談部
文化教養部	文化教養部
組織統制部	組織統制部
広報宣伝部	広報宣伝部
涉外調査部	涉外調査部
会計監査部	会計監査部
社会活動部	社会活動部
各部長	各部長
城東支部	高山和田星芝
城西支部	高尾垣健次
城南支部	高宮健次
城北支部	高瀬井勝利
中央支部	高嶺潤一
湘南支部	高島圭子
静岡支部	高木元典
茨城支部	高木英之
千葉支部	高木義典

以上簡単ですが総会報告とします。

動かしてゆく方、これは如何なつてしまつたのかと、確かに昨年の会は実行運動と横の連絡である身障者連絡協議会に力を取らねまじ、会員一人々の現実と現在の中にも幸福をみつけお手伝いが頗るに成て居ました。私選が考へて居る私達に適した住みよい社会への道は遠く長いと思はれます。そこへ行き着くために私達は、同じ進むなら一緒に一人の落伍者も出さずにめきたいと思います。これが昨年度の活動に加へて私の抱負の一つです。今年の運動方針は次の通りです。一つ一つの要項への御質問がありましら、それについて居ます。これが昨年度の活動に加へて私の抱負の一つです。

会員の生活向上（更生・教養面）

一、COP者の結集（支部強化と確立）、資金の確保

二、会内部の団結（全部・本部との意志の疎通）

三、社会活動。外面へ向っての働きかけ。

組織の強化。内面よりの充実。個々の人間の向上。

以上此の三つの柱が今年の会の眼目である事は解つて頂けたと思ひます。そして此れらは一部の会員や役員が行つてゆく事ではないのです。みなさん一人々が自主的に行ってゆく事であり、会はその総括の代弁者であり皆さんの意と意欲と希望を過不足なく、やしない行

うべき機関なのです。黙つていらしては困ります。自分の考へだけを強く申されても会として直ちに取り上ける場所がない事もあると思います。が、青い芝に私は違みんなのためにあるものです。私達すべてが動かし動くものなのです。私達のために此の六年目も御一緒に歩いて参りましょう。

昭和三十八年四月二十一日 背い芝六回総会 総会雑感

I記

折りからの好天に恵まれてか、熱心な会員諸君の出席は好調。午前中を個々の入達の現蹟にさして、一時の定期を待つ。三組の御夫婦連れも見られたのは「青い芝」の歩みが着実に発展していること

そのうち注文のお寿司も届き会場のなごやかな雰囲気が頂天に達する、電気時計の針は緊張をうながすように一時をつげる。

さあ、新会則適用に依る初の総会の開始である。

出席者六十五名、委任状提出者百四十名のうちに会はプログラム通りに進行し、五時頃時間到来と共に、白熱した論議を終了散会する。（議事、質議等は議事録参照）

ではここで当日感じたことの一二を記

早いもので会も六年目を迎へ、何かと新しい活躍の分野も増して参りました。長い間会長を務めて下さいました山北さんは現状に即した新分野の方面へ全力をそいで貢ぐため、本年は、私高山が代つて会長の席に着きました。宜敷く御願い致します。

会長も変り、大分支部や会員の数もふえ来ましたので、此れを良い機会に青い芝本来の意義と主旨をもう一度振りかえり、あわせて、今年度会が行おうとして居る活動方針に照し合せて、みなさんに検討してみて戴きたいと思います。

御承知のように昨年度の会は急速な展開をみせはじめました。これは会としての礎石が充分に形造られた結果と考へます。しかし、これも極くかぎられた地域と、めぐまれた環境の中での事でしかありません。全国にはまだまだ私達以上に偏頗な考へと無理解によつて不平等な生活、生活とは云へない取り扱いを受けて居る仲間が数多く居るのです。私達青い芝の根本の主旨は云うまでもなくこれらの仲間達を一人でも多く結集させ、よりよい社会への道を切り開いてゆく事です。それでは、それに対し如何したら青い芝の会が一番有効に生かされ、又、会

員である私達一人々の幸福と平和な生活が得られるのでしょうか。それに何の方策があります。一つは昨年会が全體を上げて行なつて来た実行運動です。私達が生きてゆくためには素朴な云い方もありましようが、着たり食へたりしなければなりません。私達自身が働き独立出来れば何も問題もないのです。残念ながら私達の大半分はその能力が半分でありそれ以下なのです。では、私達をやっただってくれるのは両親でしょうか。親が子を思いぬもうとする気持ちは尊いのです。が、現在の社会ではあらゆる面で限界があります。曰く、金銭。人間関係。他のだからと云つて私達の生存は引算のように決殺さるべきものでも、又一定の人達だけの負担に寄る。それも好ましい状態ではない。同じ算數でゆくのが、現在の社会ではある限りが、私達が会のただ一つの使命であり方法だったが、それがいつの間にか青い芝時間抱かれる方がいらしゃると思います。政府。政治だけに一丸と成つて突進むのが会のただ一つの使命であり方法だったからどうか。それでは我々が望んで居たオーニの方策お互に助け合い個々の人間を割り出してほしい。と云う面が政府。政治への運動となつて青い芝の中に昨年強く現れて来たのです。

此處で皆さんの中に多分に疑問と不満を抱かれる方がいらっしゃると思いません。政府。政治だけに一丸と成つて突進むのが会のただ一つの使命であり方法だったからどうか。それでは我々が望んで居たオーニの方策お互に助け合い個々の人間を向ふさせながらやつてゆく事。それで自然と社会の中からの波紋を興し、世論を

して見よう。

先ず時間のルーズな点である。前々からこの傾向は一向改まらないのは不思議である。それはいつの間にか青い芝時間として通用するようになつてしまつたのは甚だ遺憾である。

オーニに全員諸君の質議の熱心さが何よりも印象に残った。そう、この会は誰のものでもなく会員諸君のものであるから当たり前とも云えるのだが、しかし余りにも特定の人達だけの發言に終つたのではないか。そうした二三の発言者の意識が全員のものになる時、青い芝の大きな前進があるのではないか。

オーニに新会則に依り、会の年度予算が総会に提出されその承認を得ることになつた。そうして提出された予算は実に三十万円と云う収入の半額を事業益金といふはつきりした出所のないもので占められた謂わば冒険的な危険性をはらんだものであった。にもかゝわらずつづ込んだ討議のなかつたことは甚だ残念に思えた。

我々はこの予算案を提出した以上、勿論責任を感じている。しかしこうした危険性を帯びた予算を承認する会員諸君の考え方はどうなつか充分お聞きしたかったのである。

最後に今年の役員の団結は一寸した收穫だった。このままで行くなら青い芝の執行部の回転はスムーズに行くと思えた。

高山 久子さん（会長）

痩身で、眼光鋭く、口元をキリリと締めて……などとこの方の外見を表現する。男性とカン違いされる人もあるが、レックとした女性。やはりキリシタン大名。高山右近の子孫という血筋は争えないもので、厳しさと仕事に対する気迫あり。六年前、山北・金沢さん等と一緒に芝の種を蒔いて以来、教養部や未就学児の為の塾等に活躍する一方、女性会員の「ママ」として、いろいろの難しい相談を受け、カウンセラーとしても流れ。いよいよ会長に推されて、益々腹せ細る思いをすることが多くなるかも知れないが、転換期にある本会に、女性的感覚で新鮮味を加えて欲しい。夢は、青い芝の会員を半永久的に保護、収容し、その人なりの喜びを与えてくれる。コロニ建設にあるようだが、その前に解決しなければならない問題も多く横たわっているが、努力家、勉強家であり、甘いロマンチストが嫌いな彼女だから、きっとその実現までガンバルであろう。

今年の青い芝の特長は上州名物なんとやらが移動して来たらしい。彼女もまたその一人である。一米五十にみたない身体（おつと失礼）が全部ファイトの塊らしく、青い芝の会計に事務に、そしてお小使いかせぎの会社にと一日も休む間となく飛び廻っている。その上に適当にデイトをこなすとか、まったく空氣のつまり過ぎたゴムマリのごとく（ますます失礼）張り切っている様子は、それだけで安心出来るから不思議である。しかし、今年の青い芝は皆さんが全部御承知の通り初めから三十万円の赤字を背負っているのだから、会計としての彼女の手腕を注目してゆきたい。

芝 隆君（会計監査）

会発足以来、もくもくと苦難の社会人の道を踏破して来た彼が新役員に就任されたことはむしろ運氣に失したようであるが今迄のマンネリ化傾向の会組織に新しい風吹であり、新会長以下のチームワークをもる。潤滑油的存在であると思う。彼の魅力は若さあふれる明朗気一本の性格を自己のコントロールでまじめにその行動に現わしていることで発刺たる身の軽さは大いに享けることであろう。ここにテヨッピリ彼の裏面を見てみよう。

山北 輝さん（副会長）

やれやれ以前は会長だったオッサンもこの所羽根をのはしたのか、本部の方にも姿を見せない。肩の荷もおりたとはかり、奥さんとよろしくやっているのではないですか。オット、まあまあそんなに努らないで下さいよ。

大きなカバンを持つてオッサンが毎日活動しているのはわかっていますよ。それにしてもあの大きなカバン。気になりますね。まさか坊やを入れていてのではないでしょうか。いくなえ、え、って良きババを發揮したいたつて、まあ坊やのことはママさんにまかしておきなさい。オッサンには副会長として、社会活動の方におおいに發揮してもらわなければなりませんもの。

よろしくお願ひしますよ。（オッサン）

和田 光司氏（副会長）

彼の好物は矢張りアルコール分、和洋どちらでも良い。適量入ればどちらとも陽気に熱弁を振ったり、時には三下り、三下りの流行歌も飛び出す快楽酒である。その反面案外せつかちな面もあるらしく、この間のK君宅での会合の際、余りにも時間に気をつかい腕時計を見るごとに数回、周囲の者がせわしくなってしまったこともある。

上の勝利さま（会計監査）
疲れたなと解る時彼は足を引きずる。関節炎の後遺症である。
青い芝の役員の中には僕重型で地味なタイプの人が多い。そんな中におって彼はいわば異色の人である。どちらかといえば派手好みの行動派である。彼の行動力は時折青い芝に刺激を与え、また一方その行動力は、美和子夫人のハートを射とめる大きな要素であったようだ。（大いに見習いたいものだ）

記念号の表紙絵でご存知の方も多いと思うが、彼は画家である。その作品はあのケイレンのはげしい手から生れたものとは、どうてい思えない。彼の一面がここにも現われる。また彼は酒を好み、結婚する前によく我々と飲んだものだが、近頃は余り誘えなくなつたのは残念である。

背い芝で数少ない既婚者の一人で、いつもアベックで現われ我々チヨンガ一族のことは、どうてい思えない。彼の一面がここにも現われる。また彼は酒を好み、結婚する前によく我々と飲んだものだが、近頃は余り誘えなくなつたのは残念である。

石橋 玲一さん（事務局長）

今更こうで我々が局長さんの横顔でもあるまいと思いつらシゲシゲとのぞいたる何とマアその鼻の下の長いこと。（アラ、この眼鏡おばあちゃんのだり）

昨年発会以来の未曾有の大事業を強引にもやり通してしまったその腹胸と才覚は長年培われた石橋学校の賜ものらしい。この重役さんも「青い芝」の貧困財政には勝てないと見え毎日お弁当をプラサゲてのテクシー通りである。せめて前会長のように味気ないアルミの箱に愛の香を漂わせて欲しいもの（役員一同）。

そんな私達の願いもよそに御當人は至つて冷静、ソロソロ道楽の虫がはい出して来たらしい。この御道楽お金もうけに縁があるのでテヨッピリチャーミング。

事務局だより

四月一日付けをもって星野秀子さんが尾端元英君より事務を引き継ぎ、四月二十一日大会に於て事務局長に石橋玲一が就任した。そして約一月、今事務局は日常事務を通じて金庫の底をにらみ乍ら四苦八苦している有様。尙前途には本年度予算の半額にも及ぶ赤字が待っているのである。

なにしろ事務局の予算だけで会員五百人の会費の全額をオーバーする十六万円にがしを取つて以上、膨大な赤字は当然と云えよう。

それが各専門部の予算と違つて事務局自分で使うものではないから、余計にか割れられないものを感じる。事務局の性格から云ふと云えるのだが。どうして今や事務局の最大責任として出来れば昨年同程度の事業をしなければならないようである。しかし柳の下に何とやら、甚だ心もとなくなる次第。しかし会員の皆さまを始めとする多くの方々の御支援に依つてなんとかやり上げたいと思ってる。

とにかく事務局の夢としては、現行の予算をそのまま通常予算とし、他に百万円程度の入会費が支払えるようになりたいものと思ってる。それが夢でなく現実となる日の近いことを願いながら。

今年の社会活動について

社会活動部長 篠崎健次

皆さんが御存知の通り、会は去年、社会活動を始めました。脳性マヒ者が後所や政党を訪ねて、自分達の立場を訴へたことは、脳性マヒ者がそれの立場を考えたもので、「一つの形をみせた現れであり、会が果した役割は歴史に残るもの」といえましょ。去年この活動を様々に扱いましたのは、それが別に置かれた実行委員会でしたが、新会則によつて、今年からは役員会の中の社会活動部が、会長の指図を受けて当ることとなりました。去年の動きをみると、陳情なども初めの年としては、それ程間違つてはいなかつたと思いますが、これが会の全体に伝わらず、一部の人達のまゝよりによつて出来たのだともいえるようです。そこでかく思つて似たものがあつたようになります。これでは活動を本当に推進める。強い力とはなりません。この際、この活動が会員の中に、本当に根を下すことを、よく考えたいものです。

高山新会長の方針が、今年の社会活動は、去年より幾分遅つても会員に分らすことに向いたいといわれているのも、やはりこの辺のことを指して、余り先走らないようにとのお考えであろうと思ひます。そこで会員とよく話し合おうおりをできるだけ多くするため、組織統制部と組

んで、いろいろの集りに出で、お互の気持を知ることに努めたいのです。

それから調査宣伝部と一緒に、社会福祉施設の内容に关心をもつ動きをみせたいこと、文化教養部と結んでセミナーを開く希望といった所が考え方られます。身近なものとして、更生相談部と手を握つて、売店獲得運動をしてみたのですが、これらは各身障者団体の横のつながり(つまり身連絡)が強くならなければ、物にないと思ひます。売店獲得運動をはじめたのが、正直な話、決め手となるものがはつきりしません。去年の重慶者施設の設置要求は、理論としては筋が通つてしまいますが、会員に馴染み難い所が因るもので、今年の方針に、話し合いを多くしたいというのに、

そうした意味も含まれているのです。年金額の引上げが一番手頃なので、この僅かながら増額された後だけに、会員の気持によほどの高まりがない限り、甚だ動き難い事情があります。これについて、部としては会員に聞くより外にはないよう思いますので、やはり話し合うとか、手紙をお出しになるとかでお考えを出して頂きたいのです。これについて、示された、国立保養所増設案がなぜ認められなかつたのかを知りたいことと、重度障害者を園が本当に世話をどのように思つて、園立施設を造る署名運動を拡げて、街頭活動にまで推

し進めて行きたいということです。

去年挙げられた要求十二項目は今年も同じに扱うと総会で明らかにされました。私を加えるようにとの意見が出ました。私はその時、いまそれを持ち出すことは、必ずしも世間の受け容れる方向とは限らないと答へましたが、これは私の間違でした。我々の問題はどれも世間から知られていないことなので、それを運動によって分らせて行くのですから、いますぐにものになるとどうかは別として、それを加える方が本當です。そこで会長以下と相談の上、この一項を添えて十三項目としました。

いま一つ今年の大きな仕事は、他の身障者団体と手を握つて、広い運動が出来ることになることです。そうしたつながりが身障者と呼ばれ、差当て五つの団体が集まつていますが、これをもつと大きく強いものにすることが、一番大切なことです。「青い芝」もこれに絶えず力を注いで行かなくてはなりません。いろいろ並べてみましたが、どれもこれも生易しい事柄ではありません。部としては、会員が何を望んでいるかを聞き、会長以下役員の考えを汲んで、事を運びたいと思います。

ことによると、今年は派手な社会活動は少いかも知れませんが、余り気にしないでもよいと思ひます。——伸びるためを縮むこともあるのですから。

従い、会を代表してこよにお手紙を差上げ、次の質問に対する厚相の御考えを伺う次第であります。

質問

1. 本会では昨年初めに身障者が最も希望している別紙の十二項目を定め、それの善処を願つて厚生省その他へ陳情をして來たのですが、この十二項目に対する厚相のお考えを伺いたい。
2. 日常生活にも手を借りなければならぬような重度身障者の生存権の保障対策を、将来どのようにしたら良いと厚相はお考えになつていられるか伺いたい。

以上のお質問に対しても御返事が戴ければ幸甚に存じます。尚、御返事は本会会報に発表させていただきます。

敬具

五月十二日本部事務所に於て新役員結成初の会合が開かれた。

出席者=高山、山北、石橋、芝、星野、高垣、尾端、沢井、篠崎、宮沢、上、

1. 贊助会員の基準と会費について、本年度は現状維持とし、賛助会員の意見を聞くこととする。

2. 毎月一回厚生相談を行ふ。

会員個々の問題を積極的に解決して行

厚生大臣へ質問の手紙
去る一月末、西村厚生大臣が東京、北多摩にある東京「くるめ」園を訪れた際、本会役員の篠崎健次氏が「我々は昨年から敷地厚生省へ陳情を行つてゐるが、今まで我々が陳情に行つたら厚相は会つてくれれるか」と厚相に尋ねたところ、「何をわざわざ来ることはない、手紙を寄こせばよい」という厚相の返事であった。そこで、会長より厚生大臣宛次の様な手紙を出した。

私は別紙パンフレットにあります「青い芝の会」の会長をしている者であります。ですが、去る一月に貴厚相が都下北多摩郡久留米町にある東京「くるめ」園を訪問視察されました折、本会役員の一人が、「今度我々が厚生省へ行つたら大臣は会つていたゞけるか」とお尋ねしたところ、「来ることはない」手紙を寄こしてくれよばいよではないか」という御返事であつたとのことでしたので、その御返事に

押答

西村英一殿 青い芝の会々長 厚生大臣

昭和三十八年三月三十日

以上

四月二十一日赤坂ブリックスホテルに於いて常々いろいろと御支援を頂いている李方子様並びに京都女子大同窓会主催の「国際親和バー・ティ」が行なわれたが、いな芝生の上で頂いたジュースを飲んだり、福引きをさせて貰つたりして楽しいひときを過してきました。又会場ではバザー等が開かれ、それに着飾つた大勢の人達で、大へんはなやかなバー・ティだった。

そして去る五月十四日その純益金を頂いた。

役員会報告

五月十二日本部事務所に於て新役員結成初の会合が開かれた。

出席者=高山、山北、石橋、芝、星野、高垣、尾端、沢井、篠崎、宮沢、上、

1. 贊助会員の基準と会費について、本年度は現状維持とし、賛助会員の意見を聞くこととする。

2. 每月一回厚生相談を行ふ。

会員個々の問題を積極的に解決して行

いた。

2. 会員個々の問題を積極的に解決して行

かえりみて

加藤久尔

ていくことが大変いゝ結果が得られると
思う。訓練も同じことであろう。

私はくるめ園に入つて来る前は、非常だらしのない三年間を過ごしていた。

の生活が身に染みていたせいか、
るめ園での生活がみんなと調和をとる

人にそれをいわれた時には、あまりにも子供っぽく、やるのがいやだといって、一時間ぐらいお説教をくわされた。しか

うきんをぬった時は、非常にはずかしい
という気持とみじめさを覚えた。
それは自分分の劣等感でもあろうが、いや
私の見えっぱりかも知れないのだ。いず
れにしても私はそううきんぬいを、一週間
かゝって五枚ぬった。あやまつて自分の
手をぬったりして血だけにし、一枚は
無駄にして、あと四枚は成育園のC.P.
の人達につかってもらった。それま、た

重度の身体障害者について

宮沢
雍典

一日も早く人間らしく生きることが出来るよう、僕自身も頑張りたいと思います。

僕の考え

大田
穎

なかつたから、ことわられたのであるう
私は、ぞうきんとカゴを作ることには、
どちらも同じ様に努力したつもりだった
が、カゴの方はすぐに買ひ手がついて、
ぞうきんは、ことわられてしまったので
ある。現実とは、そういうものじゃない
かとつくづく感じてやる。
以上

大正二年十一月一日

の際同じ小兒麻ヒと云う名ボリオは正会員とする事に賛成したい。等々の事でつ

よい団体にするための之は基礎工事である上思ひのです。寺、芝が浮来争ひな邪

外でも地方でもよいどこかに土地を持ち

ビルを持ちこうして育い芝自体が黙つて
いても一定の収益を上げられるようにな

れば青い芝の社会に置ける地位生力強い
の二通り入でござつたら、更に大、大

ものばかり人々に認められ更に大きな
計画を立てるにも又国会に陳情するにし

ても厚生大臣が知らなかつたというよう
なにぎりつぶしの^{ひき}目にも逢わなかで済

事になるのではないでしょか。

実施不可能と思われるこの理想論もチリ
がつもれば山となるのたとえの通り会員

の一人一人が会を大きくする事を心がけて努力してゆけば机上の空論のように思

える事でもあなたがち不可能ではないと思
うのであります。

二〇四

二、奨助会員を世間一般によびかけて積極的にふやす努力すること。
三、会報にもあるようにボリオを正会員とすること。（之は金を少く分けるといふ事はその力を弱める事になるのでこ

て、当り前の人達と同じ様に僕せになり、生活がしたい、と云うことにつきると思ひます。僕達の当然の権利である人間として生きること、そのことをもつと真剣に会としても考へていかなければならぬと思うのです。自分で働いて見たい、安心して働ける場所が欲しいのです。働くことに生きがいを感じたいのです。そして人間として生れてきてよかつたと喜びたいのです。^{アーヴィング}もう一派深く考へるならば人の生命を一般社会がもつとも大事に大切に考えてほしいのです。そうなれば、授産所設立のことば、たてて当りまえ（國立でもなんでも）なことになる様に

まゝて車にのつて団地の方にいて、遺がわからなくなつて、大変困らせたのだ。それだけではない。まださだ沢山失敗している。昔から、失敗は成功のもとよいが、何一つこれまで成功したこともない。本当に恥かしい。かなしいと思つてゐる。これも私自身の、社会性のない原因だと思う。去年の七月頃から勉強を教える人がかわつたのである。

始めの内は緊張してはじめて勉強したがなれりにしたがつてだれてきた。そして教える人をてこすらせたものである。そういう時期が過ぎると、私は勉強といふものは、私にとってはとっても必要で、あれということがおそまき乍らわかつてきたような気がする。私はだからといつて、朝から晩迄勉強をしたいとは思わない。勉強というのは毎日少しづつやつ

つた。これからも、マツチ棒をずっとやつていきたいと思う。こうやって私はマツチ棒の手工作ができるのもやっぱりくるめ園にいるからであろう。私は家にいた時は、何もやることがなくてぞうきんぬいをやつたりした。私はなんとなく自分がみじめに思われてくる。母の前では、あらかじめこうな手つきでぞうきんぬいをすることができるが、近所の人があると本当にたまらない気持になってしまふのだった。くるめ園のように、みんなが、わかってくれよばその同じみじめさもすくいようがある。私の今のマツチ棒の手工もはじめはいやだと思つても、少なくとも、みんなが理解してくれるから気軽な気持ですることが出来るのであらう。家とくるめ園のちがいはそのへんにもあるのではないだろうか。家でもって、そ

私は何もわからなければ、自分が幾ら努力しても形よく、見ればよくないと世の中の人は使ってくれない。私が彼ら手がわるいからといって、へんかいても、わからちゃくれないのだ。

そこに脳性マヒの人の仕事の問題があるのではないかと思う。誰にしても形のよい、見ばのよいものを使うのは一般的な常識だと思う。私がアキビ館に入つて卒業の一ヶ月前、みんな最後の技術をみがくため、松坂屋に、つくったカゴを出すことになった。私は徹夜でもつて一生懸命にカゴを編んだのである。先生が、その時のカゴを、今迄の作品で一番いいと、ほめてくれた。松坂屋に出したところ、すぐに売れたそうである。それは私が商品価値に近いものを作ったから売れ

今まで歩いて来た道と現在の私

所といふ小さい工場で入つ。

三

五体満足でない私ですが学校を出て山田一郎
来脅書だけであるけれど人並にいろいろ
な道を歩いて来ましたので皆さんにちょ
うと述べてみましょう。

そこは「ドラム缶再生工場」、「ドラム缶の積荷おろしが大変なのである。私は二週間でやめてしまった。

にいか大丈夫らしいと少しでも思われる様にもっと自分自身しっかりしなくては駄目だ。それには手近かな出来る事から一歩一歩目的に向って進むべきだと痛切に感じましたので手伝いさせてもらうこと

先ず光明学校卒業後二ヶ月程して北品川にあつた大東電機に入社、初めて社会へ一步ふみ出した訳です。その時の年令十七才。

ヶ月程従事したが能率が男のくせに女子
並みだとの理由で首になってしまい、そ
れ以後はずい分探ししましたがなかなか適
職につく機会がみつからず、六年以上も上
ぶらぶら生活。その間年もだんだん取っ

中で働き始めました。時には食事も忘れてそのまま仕事に没頭する日々が続きました。しかし、やがてその日々はいつの間にか終り、また新しい日々が始まりました。それは、自分自身の成長と実現を目指す旅でした。

おひ 電気に関する知識を学び、一年近くして日立航空機立川製作所に転勤を命じられ、補助技術員として検査及び調整に従事することになってしまいました。月給約百円程、当時にはなかなか大金でした。その内に兵役年令となり、兵隊検査を受けたら意外にも任務を続ける事が軍隊訓練をやらされたことになってしまいました。それと同時にますます烈とうとう東京をはなれて沼津にのがれはつとして居る矢先終戦、そして食糧不足、いやでも今度は家人の人達と一緒に百姓をしなければならなくなり、五年程やっていました。戦災であればてた東京もどうやら形を整えて来ましたので私達一家も再びまいもどりきりです。私はそれから半年ばかりして五反田職業指導所の紹介で、日高日暮丁のヨーロピ

ヶ月程従事したが能率が男のくせに女子
並みだと理由で首になってしまい、それ
以後はすい分探しもしたがなかなか適
職につく機会がみつからず、六年以上も
ぶらぶら生活。その間年もだんだん取
て来たせいか淋しさがつのり、『生活の道
すらついていないにもかかわらず、無性
に妻がほしくなってしまいその面でのに
がい失敗も少しばかり味わうはめになっ
てしましました。が私、今迄歩いて来た
道なのです。ところが最近両全商會と云
うプラスチック原料商の代表者(私の妹
の主人)より『おれの仕事の一部を手伝
ってほしい、こちらもお兄ちゃんの将来
が良い方向へ行くよう考えて行くから』
といってくれるしも今後適切な人があつ
たら何時でも来てもらえよう」と小さい
乍らも家を一軒借りてくれました。
私は以前にも時たま原料(スクランブル)
を探して歩きましたから少々その方面
のことは通じてあるつもりですし、それ
にここで何より大切なことは妻をほしい
と思うなら先方の女性がこちらを見てこ

以来私は屢々なく夜となくたゞほこりでそのためか、まだ日が浅いのに信頼される様になり代理としていろいろな所へ行かされることがしばしばあるこの頃です。さらに驚いたことにばつい先日親類の(代表者の兄さん夫婦)と商賈仲間から二ツも縁談が持ちこまれたことでした。もちろんまだやり始めたばかりでそれも応じられる態勢になつて居ないし才一聴性マヒの方を強く望んで居ますのでその様な五体満足な方とのお話を毛頭お受けする気はないので、はつきり断つてしましました。でもこうして回りの一般の人から自然と理解されて行く事は本当に有難いことだと思っております。

分を病氣にしてしまうのです。この病氣は実は体の方はなんにも悪い所はなく、心氣の病い「らしい」のです。自分が一番心出来るのは、とにかく体が悪く寝てあるのです。一般社会にいたしても、自分は病氣だからと言う訳が出来るし父も病氣だからと自分の思いを或る程度叶えてくれるからで有ると考えられ

なので退めたいとの事、しかし彼女には
かへる家はないのです。で、小生の家に
来てもらいこゝから就職する事にまし
た。職は盲人の手引とその家庭の家事、月
給は一ヶ月手取り四千円、と決めたので
す。場所は外房の観光地K町で五月一日
から働いて居ります。

オレ一〇Pさんは歴史がないのです。他の障害者には全部今迄に前例と言う事が出来るのでその前例を踏襲する事が出来るのですがC・Pの場合には前例がないのであります。大体C・Pが発生したのは大正の末期頃からですで今四十才ぐらいの者が最年命なのです。(ヒットラー)ではないけれど「前例」とは我々が作る有ります。就職、結婚、生活、等々全部私たちが前例を作らなければならないのです。少々の時代でも「バイオニア」と言う者は苦しい物で有るのです。我々の青い芝もC・Pの「バイオニア」で有るのであります。

今迄の相談例から特に小学生が気附いた事で少々気になる事が有るのです。それはC・P者で或る年令以上の者に大へんノイローゼの重度患者が多くなりつゝ有ります。

幼時養護学校に通い家庭においても「思い出叶はざるはなし」の温室内で生活をして居た者が成長して来るにしたがつて思いい叶はざる事ばかり出来て来るのです。今迄は自分の意志が全部通った(これは自分で通して居るではなく実は保護者が通してやつて居たので有るのですが、本人自身は自分で通して居ると思ふところ)のが或る年令が来て、その年令相応の慾望を通そうとする。今迄みかたで有った保護者も一般社会も全部が自分の敵に廻り自分の思いを叶へて與れない。と考えるし、自分の体もC・Pのため自由にならないのでいろいろと考へて自分

自分を病氣にしてしきうのです。この病気は実は体の方はなんにも悪い所はなく「一氣の病い」らしいのです。自分が一番安心出来るのは、とにかく体が悪く寝る事で有るのは、一般社会にいたとしても自分は病氣だからと言ひ訳が出来るしも兄も病氣だからと自分の思いを或る程度は叶えてくれるからで有ると考えられます。

反対に幼時より温室内に入れなかつた者は同じCPでもその様な状態にはならない様です。今社会でどうにか生活して居るCP者は幼時よりいかつかの生活状態の良くなき、特權あつかいされた者が多い様です。けれども逆境を切りぬけて居た者で温室内育ちの者は、たとえ同じ様に社会に出て見ても大体中途でなげて居る様です。CP者の更生とは実は幼時より手をつけなければ駄目で有ると言ふ様な気がします。それも最重度、中度、軽度、障害と四つに別けて考へるべきだと思ひます。どうも大分前書きが長くなつた様です。これから毎号相談例をのせたいと考へて居ります。たとえば例一として、君より紙が廻つて来た、「合つて話した人に合つたS五年生の女性で軽度なCPTBで退院後一年両親亡し、全くの一人で今或る所で働いて居るが月一千円の給料で有る仕事も手先を必要とする仕事

なでので退めたいとの事、しかし彼女には
かへる家はないのです。で、小生の家に
来てもらひこゝから就職する事にしまし
た。職は盲人の手引とその家庭の家事、月
給は一ヶ月手取り四千円、と決めたので
す。場所は外房の觀光地江町で五月一日
から働いて居ります。以下次号

青い芝の会 38年度予算

(38. 4. 21)

会計だより

以上の予算案は各部から昨年度の活動並びに本年度の方針を考え合わせ予算編成会議に於て慎重に審議され、総会にて承認された。これでお解りのように運営資金の半額

収入の部		支出の部	
会後援会予定	100,000 8,400	事務局通信費	24,000 24,000 12,000 6,000 12,000 12,000 48,000 24,000
広告料附	20,000 30,000 50,000 30,000 16,000	交通事務長交際費	24,000 12,000 6,000 12,000 12,000 48,000 24,000
寄附金		会員登録費	
同業事務親の会		事務員手当	
		本部役員会費	
		計	162,000
	合計	600,000	
		厚生部	
		厚生部相談	24,000
		アミノ酸	12,000
		その他	12,000
		計	48,000
		広報部	
		印刷費	106,000
		発送費	25,000
		交通費その他	7,000
		計	138,000
		社会活動部	
		交通通信費	30,000
		文書作成発送費	6,000
		身延協会会員	12,000 2,000
		計	50,400
		文化教養部	
		レクリエーション(春・秋)	30,000
		図書係	2,000
		図書購入費	2,000
		事務費	2,000
		教養係	5,000
		キヤンブ	4,000
		セミナー	2,000
		見学会(2回)	3,000
		その他	5,000
		児童保育費	5,000
		維持費	5,000
		計	58,000
		会計	
		会費領収書	2,500
		雑費	2,000
		計	4,500
		涉外調査部	12,000
		組織統制部	60,000
		大会費用	2,000
		名簿作製	20,000
		雑費	50,000
		合計	600,000

以上のが不安定極まりないもので占められている。これは如何云うことなのか。私自身も会計として責任を感じますか、その前に何か抜けているような気がする。それにしても会費の集まり状況が甚だ芳しくない。昨年を見ると全会員の三分の一と云う有様だ。これでは会報すら發行する出来ないことになる。現在の徴収方法に問題があるかも知れませんので皆さんの御意見をお聞かせ下さい。と同時に緊急財政ですので未納の方は是非お支払い願います。

青い芝の会会計37年度決算報告

(37. 4. 1 ~ 38. 3. 31)

収入の部			支出の部				
科 目	上半期	下半期	年 度	科 目	上半期	下半期	年 度
会員会費	38,480	21,070	59,550	総務部	4,775	5,895	
会後援会より	36,000	29,000	59,000	交通通信費	3,978	8,930	
寄附 { 内 部	2,500	1,800	4,300	事務品代費	4,705	5,665	
寄附 { 外 部	14,500	10,500	25,000	交際費	0	4,700	
親の会より	3,000		3,000	計	13,458	25,190	38,648
要求運動資金カンパ	27,365	1,100	28,465	厚生部			
事業益金				相談部諸経費	10,000	10,500	
コロンビア・チャリティショウ	192,950		192,950	あみもの補助費	5,000	7,000	
C P 児教育手助け売上	400	400		交通連絡費	310	3,500	
広告代	200	15,000	15,200	計	15,310	21,000	36,310
「さんし座」売上		30,000	1,000	広報部			
記念誌代				機関紙印刷代	37,500	86,380	
「この子等に愛の手」				" 印刷代	16,550	13,920	
の配分室	52,000	52,000		交通費	2,905	3,435	
地方支部より	400	1,840		通信費	725	20	
銀行利息	1,440	14,442	14,442	その他	0	100	
合計	310,835	176,312	487,147	計	57,680	103,855	161,535
				教養部			
				図書購入代	0	600	
				計	0	600	600
				レクリエーション			
				補助費	13,150	8,185	
				交通通信費	1,100	337	
				計	14,250	8,522	22,772
				会計部			
				はがき代	1,500	0	
				交通通印代	0	115	
				計	1,500	1,315	2,815
				実行委員会			
				交通通信費	11,705	17,200	
				信連絡費	10,915	2,220	
				文書作成費	17,117	7,155	
				会員費	0	460	
				その他	0	1,500	
				計	39,737	28,535	68,272
				本部役員会議費	5,645	10,645	
				支部経費	19,316	13,302	
				電話設備費	0	10,500	
				事務員手当	0	9,000	
				事務所設備費	5,200	4,985	
				会長交際費	910		
				大会・その他			
				計	24,961	54,542	79,503
				合計	166,896	243,559	410,455
				次年度へ繰越			403,126
				総計	812,581	総計	812,581

(13)

(12)

今年の文化教養部

尾堀元英

いくことになりましたが、今年の計画を述べる前に、昨年、一年間というものまったく活動をしなかったことは大変申しわけなく、会員の皆様に深くおわびいたします。今年はそのようなことのないようになりますかぎりの活動をしていきます。

城南文選

こと」、「出来るだけ役員の手助けをすること」と述べた後、新支部長に猪地草子さん、副支部長に芝隆君と多田貴子さん、会計に塚本千満子さんを決めた。そして、城南支部を、みんなで協力していき、又一つの特色のある支部にしていきたいと話合った上、菊地さんが新支部長を希望するも、として、みんなの協力を望むとともに、「あれもこれもと云わずに一つのことをしていきたい。家庭訪問をしたい。」と述べた。それから各自、各処で例会をもちたい。例会にリクリエーションを取り入れたい。支部でどこかへ行きたい。家庭訪問をする場合、その訪問記録を作るようにならうか、回覧ノートを始めた。等々について話合った。又、四月三日、十日の区議会議員の選挙に大田区で、自身障者であり、当選した上は、身障者のために働きたいと云つて、大西勝氏以前「青い芝」の印刷を引受けけて下さっており、その他本会对し種々援助して下さっている方々が立候補し、本会にもその応援を望んで来られたので、城南支部として支援することにする。

本年度の方針に就て

宮崎

本年度は次の二点の重点を置く方針です
一、重度障害者の慰安

二、組織の拡大

として、外に出られる人たちを対象とし

ましたが、それでは不公平ですので

にしようと 思います。具体的に申します

(これは私個人の考え方ですか) 每

をしたり、その人のお宅でゲームをして

父の死後、一廻り旅行の機会がせんたくと思ふ。(但し毎朝の誕生日)

会ではいろいろと困難がありますので、

ます。二の組織の拡大とは、まだ本

会に入っていない人に入会をすゝめて人

合は一応声をかけるようにして下さる

こと。」出来るだけ役員の手助けをすること、「会計の発送や会員の催促をしたこと」と述べた後、新支部長に菊地君と多田賛助によると佐子さん、副支部長に芝隆君と多田賛助によると佐子さん、会計に塚本千満子さんを決めたとして、城南支部を、みんなで協力して組織することを、又一つの特色のある支部にしていきたいと話合った上、菊地さんが新支部長として、みんなの協力を望むとともに、「あれもこれもと云わずに一つのことをしていきたい。家庭訪問をしたい。」と述べた。それから各自、各処で例会をもちたい。例会にリクリエーションを取り入れたい。支部でどこかへ行きたい。家庭訪問をする場合、その訪問記録を作るようにならうか、回覧ノートを始めた。等々について話合った。又、四月三日十日の区議会議員の選舉に大田区で、自身障害者であり、当選した上は、身障者たちのために働きたいと云つて大西勝氏以前「青い芝」の印刷を引受けけて下さっており、その他本会对し種々援助して下さっている方々が立候補し、本会にもその応援を望んで来られたので、城南支部として支援することにする。

終つてから、賛助会員の今田さんと都社会福祉協議会の津田さんが見え、又ひとり話合い。その中で、身体の不自由な子どもをある宗教によつて治すのだよ云つてきかない親がいるが、そういう

卷之三

レクリエーションの企画と実行、各支部のレクリエーション活動に関する相談及び指導などがその主な活動です。

B 教養係

キャンプ・セミナー・見学会・サークル等が主な活動です。

キャンプは、共同生活において社会性を身につけることを目的に七月下旬、葉山教会において行う予定。

セミナーは、話す訓練、聞く訓練を目的に身近な問題をとり上げて、座談会の形式で、七月、十一月、二月の三回を予定しております。見学会は広い教養を身につけることを目的に、博物館、美術館、展覧会などの見学を機会あるごとにやります。

サークルは少し高度な、そして専門的な研究を目的としていますが、今年はサークルを作るための基礎的な調査を行なう程度で終ると思います。

現在四〇冊(別冊)ほどの本があり、本部事務所においてあります。日曜を除く毎日前十時一午後五時まで貸出しております。どうぞ大いに利用して下さい。

なお、お手元にある本で手放してよいものがありましたら御寄付下さいますよ。お願い致します。(雑誌は除く)

図書の貸出し規則は次の通りです。

身障者福祉要覧	社会保障
部の社会福祉事業	社会福祉六法
(一九四〇) 社会福祉事業二十五年の歩み	
新しい社会事業の歩み	職業
社会福祉事業法解説	
社会事業調査	身障者の心理
労働六法 (一九四〇)	

一ヶ月間貸し出しを禁止します。
④二ヶ月以上無断で返済しない場合は
六ヶ月、六ヶ月以上の場合は一年間
貸し出しを禁止します。
本を破損又は汚した場合、あるいは
紛失した場合、それ相当の金額を預

（一）図書は貸し出しかードと引きかえに。
最长期間は四週間
②特別の事情ありと認めた者には、一
週間までに期間延長します。
（二）期間満過後、四週間以内にこの用意

